

**認定第1号 令和2年度守口市一般会計歳入歳出決算の認定について**

**認定第2号 令和2年度守口市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算の認定について**

**認定第3号 令和2年度守口市特別会計後期高齢者医療事業歳入歳出決算の認定について**

**認定第4号 令和2年度守口市特別会計公共用地先行取得事業歳入歳出決算の認定について**

**認定第5号 令和2年度守口市水道事業会計決算の認定について**

**認定第6号 令和2年度守口市下水道事業会計決算の認定について**

**＝決算特別委員会委員長報告＝**

御指名により、決算特別委員会を代表いたしまして、本委員会に付託されました令和2年度における各会計決算6件に関する審査の経過及び結果につきまして御報告申し上げます。

さて、本委員会は、去る9月14日に本件の付託を受けて以来、10月20日まで計5回にわたり審査を行った次第であります。その結果、各会計決算6件については、いずれも満場一致をもって、次に申し述べます各種希望意見を付し、それぞれ認定すべきものと決した次第であります。

以下、主として審査の途上、特に問題点として指摘し強調いたしました事項などの希望意見のみをここに集約し、順次申し述べてまいりたいと存じます。

なお、この際、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、公共用地先行取得事業会計、水道事業会計並びに下水道事業会計については、特段の異論がなかったことを申し上げておきます。

**第1点**

ふるさと納税については、これまでの間、返礼品の充実を図ってきたことなどにより、申請件数や納税額は増加しており、貴重な自主財源の確保からも一定の成果が出ているものと考えられる。よって、引き続き、商工業の振興に寄与する観点からも、新たな市内事業者を発掘し協力も得ながら更なる充実に努めつつ、市の魅力を市内外へ発信する手法としても工夫を凝らし、より多くの方々に申請いただけるよう取り組まれないこと。

## 第2点

生涯学習援助基金活動助成金については、生涯学習活動の推進に資する事業を実施する団体等に対して、交付しているところであるが、いま一度、これまでの周知方法を検証し、様々な団体等に申請してもらえる方策について研究・検討されたいこと。

なお、旧本庁舎に設置されていた大時計の移設については、寄贈者の思いもくみ取りつつ、予算計上されるべきものと考えことから、今後は同様の事態を招くことのないよう、より適切な予算編成に意を配されたいこと。

## 第3点

青色防犯パトロール隊については、令和2年度より、登下校時の児童・生徒の見守りから地域の見守りへと活動範囲を広げ、地域住民の方々が中心となって安全・安心のために活動されているところであるが、例えば、市として交通安全教室や防犯講習会を開催するなど、パトロール隊員の安全運転意識等の向上にも意を配し、引き続き、警察や防犯委員など関係機関と連携を図りつつ、地域の見守り活動の継続、発展に向けた支援について、検討されたいこと。

## 第4点

児童虐待については、コロナ禍のもと保護者の在宅時間の増加の影響などにより深刻化、潜在化が懸念されているところである。今後とも市民に対し幅広く児童虐待防止意識の醸成に努めるなど、地域による見守りの目を増やす取組み等を通じ、一層の未然防止・早期発見に努められたいこと。

また、支援を要する家庭に対しては各種訪問事業等による実情把握に努めるとともに、関係機関と緊密に連携し、虐待を受けた児童の心のケアはもちろんのこと、保護者の孤立感や不安に寄り添った迅速な対応や継続的な支援にも取り組まれたいこと。

#### 第5点

生活保護について、医療扶助費は減少傾向にあるものの、いまだ扶助費全体の約二分の一を占めていることから、被保護者の健康寿命の延伸や社会復帰に繋がるよう、健康診査の受診勧奨やきめ細かな保健指導に取り組むとともに、頻回受診や重複調剤への指導の強化にも努められたいこと。

また、以前から指摘しているところであるが、不正受給対策についてはまずもって保護決定に際しての審査が重要であることから、審査体制の強化に意を配するとともに、生活保護適正化情報ダイヤル等も最大限に活用し、引き続き適正な生活保護行政に当たられたいこと。

#### 第6点

自殺予防の取り組みについては、長期化するコロナ禍による生活環境の変化や社会活動の停滞などにより、社会的な孤独・孤立の問題がより一層深刻さを増していると考えられることから、生きづらさを感じる市民に対し相談体制を強化するとともに、不安や課題等を抱えながら誰にも相談できずにいる市民に寄り添い、適切な対応が図られるよう、職員や関係者に対する研修の充

実にも鋭意取り組まれないこと。

#### 第7点

コミュニティバスについては、事故の発生が数件見受けられたところである。事故発生後は、その都度、委託事業者と事故の原因や今後の対策等について協議しているとのことであるが、今一度、委託事業者に対して、運転手への指導・研修の徹底を働きかけるなど、利用者にとって安心・安全な事業運営の確保に取り組まれないこと。

また、より多くの市民に親しまれ利用していただけるよう、利用者の意見なども参考に、運行経路や時刻などについても検討を加えられたいこと。

#### 第8点

市営住宅住替促進事業については、現在、耐震性が不足している市営住宅などを対象に住み替えが行われているところである。住み替えに当たっては、入居者の高齢化に伴う転居手続の問題など、さまざまな困難はあろうが、引き続き、入居者に寄り添いながら、真摯かつ丁寧な対応を心がけるとともに、入居者からの相談があった際には、事業期間も考慮しつつ、委託事業者等と連携を図り、実施に当たられたいこと。

#### 第9点

避難所の備蓄資機材については、食料品だけでなく、環境改善対策に伴う段ボールベッドや感染症防止対策にも配慮したテントの購入など、その充実に向け、取り組んでいるところであるが、食料品等の備蓄量や保存期限について、適切に把握することはもとより、でき得る限り廃棄することなく活用できる方策について鋭意研究されたいこと。

また、避難所の入口等の案内看板については、市民が混乱や不安を招くことのないよう、視覚

的により分かりやすく工夫を凝らすなど、引き続き、整備に努められたいこと。

#### 第10点

学力向上の取組みについては、土曜日学習事業において、児童の学習意欲の向上など一定の成果が出ているところであり、今後も各種事業の効果を検証しつつ、児童・生徒の学習習慣の確立に努められたいこと。

なお、学力向上においては、まずもって日々の授業の充実が極めて重要であることから、教員が授業づくりに注力できるよう、部活動指導員など外部人材の活用や校務支援システムの導入等による業務改善を進めるとともに、保護者や地域住民等の理解・協力も得ながら教員が担う業務の明確化・適正化を図り、もって児童・生徒へのきめ細かな指導や質の高い学びの実現に資するよう鋭意取り組まれたいこと。

#### 第11点

学校におけるいじめ事案については、教職員はもとより、専門的見地から助言等を行うスクールソーシャルワーカーを派遣するなど組織的な対応に当たっているとのことであるが、いまだ認知件数が多い状況であることから、引き続き、児童・生徒一人一人にいじめは許されないという意識づけを徹底するなど未然防止を図るとともに、いじめを認知した際には初動段階から保護者や関係機関と連携を密にし、子どもたちの心の問題に寄り添った指導・支援を行うなど、早期の解決が図られるよう迅速かつ適切な対応に努められたいこと。

#### 第12点

GIGAスクール事業については、4カ年の計画を前倒しし、全小・中学生に1人1台のタブレット端末を整備し事業を開始したところであるが、障害のある児童・生徒への利用支援や補助

教材の研究など、児童・生徒一人一人の特性に合わせた学習活動の充実を図るとともに、ICT環境を活かした主体的で対話的な学びの実現に資するよう、さらなる活用方策について鋭意検討されたいこと。

なお、着実な事業推進には教職員のICT活用能力の向上が不可欠であることから、今後とも教育委員会はもとより専門人材による支援や実践事例の共有、指導用機器の充実等についても意を配されたいこと。

本委員会は、以上のごとく各種希望意見を付し、冒頭に申し上げましたとおりの結論を見出した次第であります。

理事者におかれましては、今後とも市の発展と行政内容の充実、ひいては市民サービスの維持向上に鋭意努力を傾注されますよう重ねて強く要望いたしまして、決算特別委員会の委員長報告といたします。